

杉すぎ  
免めん

沢田稻荷神社東側と北側。  
「澤田兵庫」屋敷跡。豪族の古墳。稻荷神社社地。



澤田稻荷のけやき

谷地やちだ田

集落の前方南側、昔は湿地であったのか、名の由来不明。

田子畑たごばた

田子薬師堂の北側で以前は畑地であったので「田子畑」と名付けられたのであろう。

上代うわだい

「澤田」集落の西南の方で、牛川堀を挟んで西側を上代、東側を田子畑と呼ぶ。

弁財天べんさいてん

集落の西側に位置し蕎麦ノ目との境界地、昔弁財天を祭った祠があったので名付けられたと云い伝えられている。

遠西とおいにし

和泉新田との境界地、和泉新田から見れば遠くの西側に位置していたので、この地名がついたと云われている。

橋本はしもと

現在の「小沢田」(二軒)付近は橋本と呼ばれていた。

山台道やまたいみち

「澤田」集落北側やや西よりの街道で現在の県道会津坂下、会津高田線が開通する以前の坂下〜高田間の往還の道で重要な街道であった。現在の田子薬師堂より牛川堀にそって集落南三百米位の所に「物見壇」がありその所を通り、集落に入りやや西に百米程行き、其の地点より「山台道」に結び坂下方面に往來していたと云われている。

●塚 物見壇遺跡 奈良時期 平成二年発掘

「田子畑」に所在する遺跡である。「新編会津風土記卷之七十六・陸奥国大沼郡之五・澤田村の項に古蹟物見壇村南二町五十間餘にあり、小高き所なり。由来詳ならず、近頃この所より瓶一箇、大小刀十餘口を掘り出す瓶中に短刀一口ありしと云」と記載されている所から古墳・あるいは経塚の類と考えられてきた。

平成二年五月発掘調査の結果予定した遺構や遺物の出土はなかったが、付近から土師器・須恵器の出土、弥生時代後期の良い資料が出土した。